

第20回国際医療協力シンポジウム

The 20th Symposium on the International Medical Cooperation

糖尿病総合対策の新しい展開に向けて

New Development of Measures against Diabetes

日時↓平成23年11月18日(金)13:00~17:30 会場↓(独)国立国際医療研究センター5F 大会議場【入場無料】

(交通アクセス) ●都営地下鉄 大江戸線 若松河田駅から徒歩5分 ●東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩10分 ●丸の内線 大塚駅から徒歩10分 ●有明線 新橋駅から徒歩10分 ●有明線 新橋駅から徒歩10分 ●有明線 新橋駅から徒歩10分 ●有明線 新橋駅から徒歩10分

開会挨拶 13:00~13:10

織田 敏次 (財)国際協力医学研究振興財団理事長
桐野 高明 (独)国立国際医療研究センター総長

基調講演 13:10~13:30

「糖尿病総合対策の新しい展開に向けて」

春日 雅人 (独)国立国際医療研究センター研究所長

第1部

「日本とアジアにおける糖尿病の現状と施策」

座長：田嶋 尚子 東京慈恵会医科大学名誉教授

13:30~13:50 【日 本】 三田 晃史
厚生労働省健康局生活習慣病対策室室長補佐

13:50~14:10 【ベトナム】 梶尾 裕
(独)国立国際医療研究センター糖尿病・代謝症候群診療部第一糖尿病科医長

14:10~14:30 【韓 国】 Nam Han Cho
Professor, Department of Preventive Medicine, Ajou University School of Medicine, Korea

休 憩

第2部

「今後の糖尿病治療はどうか変わるか？」

座長：門脇 孝 東京大学医学部附属病院病院長

柏木 厚典 滋賀医科大学医学部附属病院病院長

14:45~15:10 ●糖尿病のゲノム解析と個別化医療を目指した研究と展望
安田 和基 (独)国立国際医療研究センター研究所代謝疾患研究部長

15:10~15:35 ●糖尿病の薬物療法ー現況と今後の展望
松本 道宏 (独)国立国際医療研究センター研究所分子代謝制御研究部長

15:35~16:00 ●合併症のバイオマーカーと新薬開発
鏑木 康志 (独)国立国際医療研究センター研究所臓器障害研究部長

16:00~16:25 ●脾臓移植と再生医療
松本 慎一 Director, Baylor Research Institute, Islet Cell Laboratory, Texas, U.S.A

16:25~16:50 ●糖尿病の大規模臨床研究と糖尿病の戦略研究ー成果の生かし方ー
野田 光彦 (独)国立国際医療研究センター糖尿病・代謝症候群診療部長

第3部 16:50~17:20

総合討論

座長：春日 雅人 (独)国立国際医療研究センター研究所長

閉会挨拶 17:20~17:30

木村 壯介 (独)国立国際医療研究センター病院長

主催



財団法人 国際協力医学研究振興財団
東京都新宿区戸山1-21-1 TEL.03-3208-5571
(独)国立国際医療研究センター内 FAX.03-3208-5572
<http://www.pimrc.or.jp/>

後援



(独)国立国際医療研究センター